

平成27年度 JR 東日本協力講座
「いわてホスピタリティ・マネジメント講座」
受講生募集要項

1 目的

自然や食など優れた観光資源の活用等を通じて「観光による地方創生」を推進していくためには、厳しい環境に打ち勝つ戦略と実行力を持った経営者の育成が急務である。

このため、観光を切り口にした地域振興をめざす人材を対象に、経営者としての知識と実践力の向上を目的として本講座を開設する。

2 主催

岩手県立大学総合政策学部・地域連携本部

3 後援

岩手県、盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町、一般社団法人岩手経済同友会、岩手県農業法人協会

4 開催時期

平成28年2月（全6回）

5 開催内容（詳細は別表カリキュラムのとおり）

- (1) 【企画立案のためのヒントを得る：経営理念とは何か】
- (2) 【顧客との長期的な関係についてCRM（顧客管理）から考える】
- (3) 【ホスピタリティ・マネジメントを考える】
- (4) 【事例「紀州原農園の目指すおいしい条件を満たす手作りの味わい」】
- (5) 【意思決定をする手法として管理会計を考える】
- (6) 【事業計画プレゼンテーション】

6 経費

受講料は無料。ただし、会場までの交通費や昼食代は受講者の負担とする。

7 受講申込

受講希望者は、別紙様式1及び様式2により、平成28年1月25日（月）までに岩手県立大学地域連携室へ申し込むものとする。

8 その他

- (1) 受講に必要な資料提出については、別途通知する。
- (2) 応募者多数の場合、受講生の経営概要（様式2）にて事前審査をする。
- (3) 原則として全日参加すること。

9 お問い合わせ先

岩手県立大学地域連携室

〒020-0611 滝沢市菓子152-89 TEL 019-694-3330・FAX 019-694-3331

メール：koukaikouza@ml.iwate-pu.ac.jp（ただしメールのサイズは150KBまで）

平成 27 年度 J R 東日本協力講座
「いわてホスピタリティ・マネジメント講座」カリキュラム

	日時及び場所	内容及び講師	◆ねらい/・内容 (予定)
導 入	【第 1 回】 平成 28 年 2 月 19 日 (金) 13 : 00 ~ 14 : 30 岩手県立大学地域連携棟 プレゼンテーション室 (滝沢市菓子 152-89)	【開講式】 【受講者自己紹介】 【企画立案のためのヒントを得る : 経営理念とは何か】 ○講師 東日本旅客鉄道(株) 盛岡支社 営業部長 堀江和王 様 ○講師 岩手県立大学総合政策学部 准教授 新田義修	◆ねらい/・内容 (予定) ◆観光業の目標、あるべき姿を考える ・JR 東日本の経営理念について ・JR 東日本の取組みについて (主に観光に関わるところ)
手 法 ①	【第 2 回】 平成 28 年 2 月 19 日 (金) 14 : 40 ~ 16 : 10 会場同上	【顧客との長期的な関係について CRM : Customer Relationship Management (顧客管理) から考える】 ○講師 (一社) 岩手経済同友会 幹事 (株)岩手ホテル&リゾート 常務取締役 赤坂 勝 様	◆固定客を増やすための手法を考える ・顧客管理の方法について ・顧客との長期的な関係をどのように構築するのかについて
手 法 ②	【第 3 回】 平成 28 年 2 月 23 日 (火) 13 : 00 ~ 14 : 30 紫波町オガール内 (オガールベース内会議室またはサン・ビレッジ紫波内会議室)	【ホスピタリティ・マネジメントを考える】 ○講師 (株)ジェイアール東日本商事 常務取締役 大見山 俊雄 様 (前 盛岡ターミナルビル(株) 代表取締役社長)	◆サービス業としての観光業は何か知る ・ホスピタリティ・マネジメントの概要とブランド確立の条件について学ぶ
事 例	【第 4 回】 平成 28 年 2 月 23 日 (火) 14 : 40 ~ 16 : 10 同上	【事例「紀州原農園の目指すおいしい条件を満たす手作りの味わい」】 ○講師 紀州原農園 園主 原 拓生 様 (平成 8 年度天皇杯受賞・むらづくり部門-秋津野塾-)	◆事例をもとに具体的な課題について検討する ・農作物を利用した事業の拡大について
会 計	【第 5 回】 平成 28 年 2 月 26 日 (金) 13 : 00 ~ 14 : 30 滝沢市 IPU 第 2 イノベーションセンター 会議室 (岩手県立大学地域連携棟隣)	【意思決定をする手法として管理会計を考える】 ○講師 岩手県立大学総合政策学部 准教授 山本 健	◆管理会計を用いた意志決定を学ぶ ・管理会計を導入する意義 ・管理会計と意志決定について学ぶ
ま と め	【第 6 回】 平成 28 年 2 月 26 日 (金) 14 : 40 ~ 16 : 10 会場同上	【事業計画プレゼンテーション】 内容 : 演習及び事業計画プレゼンテーション (発表と質疑応答) ○講評 岩手県立大学総合政策学部 准教授 新田義修 【閉講式】	◆事業計画をまとめる ・事業計画の報告 ・ディスカッションによる演習

※講師及びタイトルは変更となる場合があります。ご了承ください。

※2 日目の会場については、別途ご案内します。

(様式1)

平成27年度「いわてホスピタリティ・マネジメント講座」受講申込書

所 属	
職 氏 名	
年 齢	
郵 便 番 号	
住 所	
電 話 番 号	
パソコンメール ア ド レ ス	

※記載の個人情報は、いわてホスピタリティ・マネジメント講座の運営及び調査研究の目的以外には使用しません。

※申込期限及び申し込み先

平成28年1月25日(月)までに、岩手県立大学地域連携室までお申し込み下さい。

(様式2)

平成27年度「いわてホスピタリティ・マネジメント講座」受講者の経営概要

【経営概要】		記載上の留意事項
名前	前	
主要事業		※主要事業名を記載
経営規模		※主要事業の経営規模を記載
従業員	男 名、女 名	※性別毎に労働力を記載
売上額(万円)	万円(内訳 万円、 万円)	※平成26年度売上額記載

◆経営の経過 (※経営の動きを記載)

◆経営の転機 (※規模拡大、新規事業、新技術導入、法人化など経営の転機となった出来事を箇条書きで記載)

◆経営の特徴 (※現在の経営の特徴を箇条書きで記載)
(記載例)

◆今後の展望 (※今後、取り組んでいきたいと考えていることを記載)

※本様式は、講座第1回目に受講者から、経営概要について自己紹介していただく際の資料となります。
※応募多数の場合、講座開始前の事前審査の資料とします。

(様式2)

平成27年度「いわてホスピタリティ・マネジメント講座」受講者の経営概要

【経営概要】		記載上の留意事項
名前	前	
主要事業		※主要事業名を記載
経営規模		※主要事業の経営規模を記載
従業員	男 名、女 名	※性別毎に労働力を記載
売上額(万円)	万円(内訳 万円、 万円)	※平成26年度売上額記載

◆経営の経過 (※経営の動きを記載)

(記載例)

- 昭和〇〇年 サラリーマンから観光にUターン就職
- 昭和〇〇年 山岳ガイド・国際山岳ガイド資格を取得
- 昭和〇〇年 自然ガイド・登山ガイド資格を取得と同時に複合経営に転換
- 平成〇〇年 スキーガイドを取得、長男(岩手太郎)が就農
- 平成〇〇年 株式会社〇〇〇を設立と同時に、フリークライミングガイド資格を取得

◆経営の転機 (※規模拡大、新規事業、新技術導入、法人化など経営の転機となった出来事を箇条書きで記載)

(記載例)

①資格試験の取得

就業当初は、山岳ガイドをしていたが、労力分散やより高収益をめざし、国際山岳ガイドを取得し、インバウンド対応に転換した。

②自然ガイド・登山ガイドの所得と法人化

私(岩手太郎)の就業を契機として、経営を法人化。従来の山岳ガイド・国際山岳ガイドに加え、自然ガイド・登山ガイドを取得。私(岩手太郎)は、自然ガイドを担当する。

◆経営の特徴 (※現在の経営の特徴を箇条書きで記載)

(記載例)

①付加価値の高いサービスを消費者に直接販売

要望の高い包括的なサービスにより、山岳ガイド・自然ガイド他のサービス提供に取り組んでいる。地元農家や産直コーナーなどへの案内の他、消費者に野菜類を直接販売している。

◆今後の展望 (※今後、取り組んでいきたいと考えていることを記載)

※本様式は、講座第1回目に受講者から、経営概要について自己紹介していただく際の資料となります。
 ※応募多数の場合、講座開始前の事前審査の資料とします。